四六判
【新装版】中国最凶の呪い蠱毒

村上文崇 著
ISBN4-8013-0739-1
税込2420円

猫で呪い、虫で殺す

呪術大国・中国にて 今もなお畏怖される 「蠱毒」を 古文書と伝承、 報道から 読

呪殺。それは人を呪い殺す呪術の奥義である。そして、蠱毒は人の命を奪う呪術、呪殺の手段の中で、最凶の邪法として畏怖されているのだ。蠱が恐れられているのは単に人の命を奪うからではない。蠱は人を病の苦しみに沈めるのだ。蠱の呪力に憑かれた人は、何か月も、何年も、病の苦しみに苛まれ、絶望の果てに命を落とすのである。毒針、粘液、強靭な牙、獰猛な食欲を持つおび…

文庫判
太平洋戦争　通説のウソ

大日本帝国の謎検証委員会 編
ISBN4-8013-0731-5
税込825円

最新研究で明らかになった太平洋戦争の新常識を紹介！

ミッドウェー海戦はターニングポイントではなかった

戦後70年以上を経たことで、新資料の発見が相次ぎ、研究も蓄積されてきた。そうした研究成果によって、これまで当たり前だと思われていた歴史的事実が変化。真珠湾攻撃からミッドウェー海戦、ゼロ戦の性能、戦争指導者の素顔、日本をとりまく国際情勢など、通説を覆す新説が定着しつつある。そこで本書では、最新研究でわかった太平洋戦争の新常識を紹介。通説がどのように変化…

四六判
ソ連秘密警察リュシコフ大将の日本亡命

上杉一紀 著
ISBN4-8013-0727-8
税込1980円

歴史の闇に埋もれた史上最大の亡命事件！

日ソ謀略史の謎に迫る歴史ノンフィクション

日中戦争の最中の1938年6月13日、満洲とソ連の国境で、ひとつの亡命事件が発生した。ソ連から逃亡してきた男の名前は、ゲンリフ・サモイロヴィッチ・リュシコフ。ソ連秘密警察の高官でスターリンの右腕としてウクライナでの虐殺を指揮していた〝大物〟だった。秘密戦の専門家だったリュシコフは、対ソ戦のブレーンとして日本軍に協力していくことになる。ノモンハン事件、太平洋…

A5判
新版 図解 江戸の間取り

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0719-3
税込1540円

間取りを見れば江戸がわかる

大きな図版でわかりやすい新装版

百万都市江戸の魅力を「間取り図」を介してやさしく解説。五つの土地毎に章を分け、江戸に住む人々の暮らしに迫る。対象は将軍や大名といった上流層から、旗本・御家人や江戸勤番の藩士たち、さらには町人、豪農など。住まいや勤め先の内部を見れば、江戸のリアルを実感できる。…

文庫判
大名廃業

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0712-4
税込825円

お家存続をめぐる諸勢力の思惑に迫る

家臣がお家にためにお殿様を幽閉!?

泰平の世を過ごした江戸時代のお殿様は、世襲が前提。戦国大名のように弱肉強食、食うか食われるかの日々を送ったわけではない。しかしだからといって、身分が保証されたわけではなかった。幕府の意向に沿わなければ身分を突然剥奪され、下手をすれば命を失うこともあった！怨恨のあるお殿様を殺害して身分剥奪、領民が江戸に押しかけてトラブルが露呈、お家断絶の原因になり…

四六判
江戸時代はアンダーグラウンド

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0710-0
税込1540円

江戸のズルすぎる処世術

庶民も、侍も、お殿様も手を染めた！

古今東西を問わず、どの地域や国家にも表と裏の社会がある。江戸時代の日本にも、無法者たちが集う裏社会は存在したが、実は表の社会でも、法を無視したアンダーグラウンドな光景は珍しくなかった。金で不祥事を解決しようとする武士、違法な賭博や遊女遊びにハマる庶民、将軍の極秘情報がダダ漏れの江戸城、御家安泰のため幕府に虚偽報告をしてばかりの大名家など、江戸のアン…

四六判
お江戸はつらいよ

水戸計 著
ISBN4-8013-0696-7
税込1540円

太平の世の恐ろしすぎる実態！

厳しい経済事情、飢饉、疫病、残虐刑…

関ケ原の戦いに勝利した徳川家康が、江戸に幕府を開いてから約260年。徳川家の強固な支配体制のもと、日本にはかつてないほど平和な時代が訪れた。時代劇や時代小説の影響もあってか、現代における江戸のイメージはすこぶる良い。「タイムマシーンがあったら、いってみたい」などと思っている人もいることだろう。だが、本当に江戸時代はいい時代だったのか。江戸の人々は太平…

文庫判
本当は怖い仏教の話

沢辺有司 著
ISBN4-8013-0694-3
税込825円

仏教のタブーに迫る

焼身、入水、呪術合戦、隠れ信者への弾圧…

仏教は悟りの境地をめざすが、その断面を切り取ってみると、ときに、どろどろした黒い血のようなものがしたたり落ちる。死を伴うショッキングな修行や、僧侶同士の呪術合戦、仏による恐ろしい罰……。仏教の暗黒面に、38のエピソードから迫る。…

文庫判
ウソみたいだけど本当にあった歴史雑学

青山誠 著
ISBN4-8013-0681-3
税込825円

誰かに話したくなる、驚きの歴史トリビア！

「これ、マジ!?」な逸話が満載！

長きにわたって積み上げられてきた人類の歴史。その中には、思わず「ホント!?」と声が出てしまう、ウソみたいな逸話がある。・凄腕の剣客だった福沢諭吉・大統領になるのを断ったアインシュタイン・日本で暗殺されかけたチャップリン・たった40分足らずで終わった世界最短の戦争・330年以上も続いて、死傷者ゼロの戦争などなど、古今東西の歴史トリビアを結集。日本の偉人…

四六判
日本史の謎は科学で解ける

三澤信也 著
ISBN4-8013-0663-9
税込1540円

歴史と科学の知識が一気に手に入る！

歴史は科学の力に左右される

日本の歴史の中には、いまだ解明されていない謎が数多くあります。本書ではそれらの謎に、科学的なアプローチを試みました。歴史の転換期はもちろん、人々の日常に科学がどれほど深く影響しているかが、本書を読めばよく分かります。…

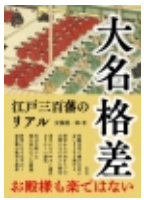
A5判
図解　城の間取り

日本史の謎検証委員会 編
ISBN4-8013-0658-5
税込1430円

安土城、江戸城、姫路城、小田原城…

間取りから読み解く驚きの仕掛け

日本の城の実態は、「間取り図」を見ればよくわかる。江戸時代の絵図や復元図を元にして、各城の注目ポイントを紹介。天下人だからこそ実現できた豪華かつ堅牢な城、名城に施された仕掛けの数々、合戦における城の実力、城の経済面・生活面の影響などを、城を俯瞰しながらやさしく解説。城に秘められた驚きの仕掛けがわかる一冊。…



文庫判
大名格差

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0651-6
税込792円

お殿さまも楽ではない

幕府による巧みな大名統制戦略

江戸時代の日本は徳川将軍家が率いる幕府と、三百諸侯と称された大名家が率いる実数約260もの藩が共同統治する時代であった。大名といっても100万石から1万石まで格差は大きかったが、石高以外にも様々な基準で格付けされた。そうした区分が組み合わされることで家格は決まったが、その基本は将軍との関係である。将軍に近いほど優遇され、遠いほど冷遇された。そんな幕府によ…

四六判
大名廃業

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0646-2
税込1540円

存亡の危機に直面したお殿様たちの命運

藩主でも幕府の意向で切腹&お家断絶

泰平の世を過ごした江戸時代のお殿様は、世襲が前提。戦国大名のように弱肉強食、食うか食われるかの日々を送ったわけではない――。しかしだからといって、身分が保証されたわけではなかった。幕府の意向に沿わなければ身分を突然剥奪され、下手をすれば命を失うこともあった！怨恨のあるお殿様を殺害して身分剥奪、領民が江戸に押しかけてトラブルが露呈、お家断絶の原因に…

文庫判
本当にヤバい中世ヨーロッパの暗黒時代

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0642-4
税込792円

なぜ人はここまで残酷になれたのか？

映画やゲームで描かれる残酷な世界はどのくらい本当か

魔女狩り、拷問、公開処刑、略奪、虐殺、指導者の腐敗、宗教戦争、異端審問、動物裁判、貴族の大量殺人…中世の人々はなぜこんなに残酷なことができたのか？実際はどのようなものだったのか？数々の事件の背景や原因を探ると、当時の社会や人々の姿が見えてくる。…

B5判
図解　いちばんやさしい地政学の本

沢辺有司 著
ISBN4-8013-0639-4
税込990円

激動の世界の“今”と“これから”を読み解く

2023年の世界はどうなるのか？

いま世界では、ウクライナ戦争や切迫する台湾有事、北朝鮮のミサイル発射など、物騒なニュースがたえません。なぜこうした問題が起きているのかを考えるとき、さまざまな解釈の方法があるでしょう。「地政学」とは、地図をもとにその国の政治や軍事を考えていく学問です。軍事理論でもあるため、戦後の日本では封印されていました。地理というのは、時代が変わっても変わりま…

B5判
図解　幕末　通説のウソ

日本史の謎検証委員会 編
ISBN4-8013-0630-1
税込990円

江戸の庶民は黒船に興味津々だった？

幕末の新常識がわかる！

「江戸の庶民は黒船に興味津々だった」「薩英戦争で薩摩藩はイギリスに善戦した」「新選組は早くから洋式の装備を導入していた」「日本の水道網や識字率は外国よりも優れていた」など、これまでの研究で明らかになった34の幕末史の新説を紹介。事件、戦争、社会・文化というテーマから、図版を用いて幕末の真相を読み解いた一冊。…

B5判
図解 つなげてみれば超わかる 日本史×世界史

森村宗冬 著
ISBN4-8013-0603-5
税込1000円

つなげると日本と世界の「連動」がわかる

歴史の流れを写真と図で見る

日本はどのような影響を世界から受けてきたのか？また日本が世界に与えた影響は？つなげてみると意外な関係性が見えてくる！…

B5判
ビジュアル版　終戦直後の日本

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0615-8
税込990円

戦争の後、人々はどうやって生きたのか？

大量の写真と図で見る終戦直後のリアル

敗戦はすべての日本人を窮状に陥れた。生きのびるために必死な人々は路上や洞窟で暮らし、ヤミ市で食べ物をあさる。その隣ではかつて「鬼畜」と呼んでいた米兵が闊歩し、チョコレートを配っていた。過去の秩序や価値観がひっくりかえった時期でもあった。現在と比べるとあらゆるものが劣悪だったにも関わらず、ある意味では活気に満ちていた日本の様子を、人々の生活・混乱・…

四六判
明治維新の収支決算報告

青山誠 著
ISBN4-8013-0610-3
税込1430円

革命の費用はいかにして調達されたのか？

明治維新を金銭面から解剖する！

十進法に基づく円形新貨幣を鋳造し、新しい通貨制度を確立。地租改正や廃藩置県を行い、租税の基盤を築く。全国に鉄道網や大工場を築くなど、国を挙げて殖産興業に取り組み、世界市場で存在感を発揮する――。明治維新は、わずか数年で国家の近代化を実現した、日本史上の〝奇跡〟と呼べるような出来事だった。司馬遼太郎の『歳月』によると、幕末～明治初年の国家歳入は1100万…

B5判
図解 日本史人物 通説のウソ

日本史の謎検証委員会 編
ISBN4-8013-0608-0
税込990円

織田信長は裏切られても処罰の甘いお人よしだった

歴史を動かした重要人物の素顔に迫る

歴史常識は、この数十年で大きく変化した。新史料の発見や新たな史料解釈によって、当たり前だと思われていた通説が否定され、新たな歴史常識が支持を集めるようになっている。特に、歴史上の重要人物の評価は大きく変わり、意外な素顔が明らかになった。そんな歴史人物の新常識を、図版と大きな文字で解説。「部下から何度も裏切られた織田信長」「短気で怒りやすかった徳川家…

四六判
維新直後の日本

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0596-0
税込1430円

明治政府はいきなり崩壊寸前！

維新から５年弱で直面した知られざる日本の危機

明治維新直後の日本は、史上類をみないほどの大混乱に陥っていた。新時代の到来というポジティブなイメージの強い明治維新だが、維新直後は事情が違った。東京では土地が荒廃し、京都ではテロが横行、諸藩が反政府的な動きをみせるなど、あらゆる問題が噴出していた。日本人はそうした混乱といかに向き合い乗り越えようとしたのか。5年弱の激動の期間に注目して、明治維新を正…

文庫判
知られざる名城の仕掛けと謎

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0592-2
税込750円

かつて、城は戦場だった

城攻めの戦略や武器がわかる

日本の城は、武将の力の象徴であり、戦いの場でもあった。城に施された仕掛けは、攻め込んでくる敵を退け、戦いを有利に導く。そのため、武将たちはそれぞれ知恵を絞って城を建てたのだ。本書ではそのような名城の機能を中心に、実際の合戦や武器などを、写真や図とともに紹介する。…

四六判
わからないと恥ずかしい 小中学校で習った日本史

火田博文 著
ISBN4-8013-0587-8
税込1000円

完答必須の常識問題100問

この一冊で日本の歴史をまるっとおさらい

学校を卒業してからむしろ、勉強したくなる。ふしぎな現象ではあるけれど、誰しも体験した感覚だろう。とくに気になるのが歴史、それも日本史ではなかろうか。ところが、だ。いざ、もう一度勉強をと思って歴史の本を読んでみると、基本的なことをぜんぜん知らないことに気がつく。「徳川家康はどんな経緯で天下人になったのか。」「応仁の乱はなぜ起きたのか。」「どうして…

四六判
【超訳】留魂録

武田知弘 著
ISBN4-8013-0574-8
税込1430円

困難に直面したときいかに行動すべきか

新時代のリーダーを育てた吉田松陰の心を動かす教え

弟子たちを熱狂させ、新しい時代を導いた幕末の思想家・吉田松陰。その松陰が処刑直前に書いた『留魂録』には、人の心を動かす教えが満ちている。高杉晋作や伊藤博文ら弟子たちは『留魂録』を何度も読み返して師の志を受け継ぎ、新時代のリーダーとして明治維新を実現させた。困難に直面したときいかに生きるべきか、どうすれば勇気や行動力を持てるのか、人を教え導くにはどう…

B5判
統計から読み解く色分け日本地図

重永瞬 著
ISBN4-8013-0583-0
税込990円

カラフルな地図を見れば日本のことがよくわかる！

日本の地域差が一目瞭然

本屋を歩くと、都道府県ランキングやご当地あるあるを扱った書籍がたくさん目に入ります。「○○県民はこれが好き」といった県民ネタを扱うテレビ番組も人気を博しています。しかし、「○○県のあるある」は、その県の中でも一部の地域にしか当てはまらないこともよくあります。県庁所在地だけで通用する「あるある」が県全体での「あるある」として扱われることにモヤモヤした…

四六判
なにかと人間くさい徳川将軍

真山知幸 著
ISBN4-8013-0560-1
税込1430円

身内びいき、キレすぎ、気配り上手…

将軍さまの意外な素顔

江戸時代の武家社会で最も権威のある存在――それが、征夷大将軍である。武士のトップに立つ将軍ともなれば、さぞ、自分の思うままに采配を振り、大勢を従えながら、人生を謳歌したのだろうと思うかもしれない。しかし、現実の将軍はそんなイメージとはかけ離れている。上司の豊臣秀頼との付き合いに苦心する初代家康、強権すぎて幕臣が暴走を止められなかった5代綱吉、支持者…

四六判
要点だけで超わかる日本史

沢辺有司 著
ISBN4-8013-0570-0
税込1000円

「いつ」「どこで」「誰が」「何をして」「どうなった」

５つのポイントで日本史の流れが一目瞭然

●日本史の流れを決定づけた政策や政変、事件など、50の要点を厳選。●それぞれの要点を、「いつ」「どこで」「だれが」「なにをして」「どうなったか」という５つのポイントで整理。●豊富な図解とやさしい解説で歴史的な背景もばっちり理解！日本史が嫌い、日本史が苦手……。でも、日本人にとって日本史は大事な学問です。大人になると、一般常識として日本史のある程度の…

四六判
科学で読み解く迷信・言い伝え

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0556-4
税込1000円

昔からの迷信や言い伝えを科学的に検証したらどうなる？

現代だから分かった真相

・こっくりさんをすると霊を呼び出せる・わら人形に五寸釘を打って呪うと相手は死ぬ・年をとった猫又は夜な夜な二足立ちで油をなめる・幽霊の手はだらりと下がっている・学校のトイレには花子さんがいる…など、みんなが知っているあの話の真実がわかる！…

四六判
日韓併合の収支決算報告

青山誠 著
ISBN4-8013-0552-6
税込1430円

日本は何を得て、何を失ったか？

朝鮮統治35年を金銭面から分析する！

明治43（1910）年8月29日、大日本帝国は「韓国併合ニ関スル条約」に基づいて、朝鮮半島を領土に組み入れた。世にいう「日韓併合」である。日本は朝鮮総督府を置くと、莫大な予算をつぎ込み、朝鮮半島の近代化に着手した。税制を立て直すために、土地の測量を断行。道路や鉄道などのインフラを整え、内地からの投資を呼び込み、農業中心だった朝鮮の工業化を目指した。公立学校を…

四六判
最新研究でここまでわかった 日本の戦争史 通説のウソ

日本史の謎検証委員会 編
ISBN4-8013-0548-9
税込1000円

戦争史の新常識がわかる

真珠湾攻撃がアメリカに察知されていたというのはウソ

「日本人が太平洋戦争後に従軍していないというのはウソ」「盧溝橋事件が日中の全面戦争を決定づけたというのはウソ」「治承・寿永の乱が源氏と平氏の戦いというのはウソ」「徳川家康は石田三成の挙兵を察知していたというのはウソ」など、戦争にまつわる新常識・新説を、計４章を通じて紹介！人物、戦術戦略、政治、戦後の４つのテーマから、戦争史の新視点がわかる。…

文庫判
本当は怖い日本の神話

古代ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0547-2
税込750円

いけにえ、裏切り、たたり、虐殺…

神話から古代日本の闇に迫る

生まれてすぐに両親に捨てられた神ヒルコ、拷問を加えられて天上界を追放されたスサノオ、イザナミが眠る異界として恐れられた熊野三山、生贄の風習を伝える祭り……など、日本神話に描かれた恐怖のエピソードを紹介。古代の人々が厳しい自然といかに向き合い、熾烈な勢力圏争いをどのように記憶してきたかがわかる。…

文庫判
教科書には載っていない 太平洋戦争の大誤解

武田知弘 著
ISBN4-8013-0546-5
税込750円

虚飾と誤解にまみれた、あの戦争の真実に迫る

謀略の限りを尽くしたアメリカ、国民が戦争を望んだ日本

太平洋戦争は戦後教育の中で、こういうふうに教えられてきた。「軍部が暴走して勝手に戦争を始めてしまった」「国民はそれに巻き込まれて大変な思いをした」「軍国主義だった日本が、自由主義の英米に無謀な戦いを挑み敗れた」しかし、これらの見方には大きな誤解がある。戦前の日本では、むしろ国民は軍部の後押しをするような面が多分にあったし、また日本は必ずしも軍国…

四六判
徳川幕府の資金繰り

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0544-1
税込1430円

貨幣改鋳、金融業進出、大名に負担を強要…

幕府がお金集めのために編み出した秘策の数々

豊かな財政を誇った徳川幕府も、資金繰りには悩まされていた。将軍の浪費、インフラ整備、相次ぐ災害、鉱山経営の停滞……。時代を経るにつれて歳入は頭打ちになるも、支出の増大の止まらない。将軍や歴代の財政当局は支出を減らし、あの手この手で歳入を増やそうと知恵を絞るも……。財政難を背景に幕府が資金繰りに奔走した歴史を、五つの時代に分けて解明。財政からみた徳…

四六判
戦艦大和の収支決算報告

青山誠 著
ISBN4-8013-0542-7
税込1000円

金銭面から解剖すると全く新しい大和が見えてくる

建造費・維持費・戦費から見た戦艦大和

世界一の威容を誇った戦艦大和。これまで大和はありとあらゆる評論・創作物で取り上げられてきた。悲劇的な最期を綴ったものもあれば、開発秘話や性能を紹介するもの、そして大和が大活躍する架空戦記など枚挙にいとまがない。しかし、これまでに表立って論じられてこなかった側面がある。それがコスト――金銭面から大和を解剖することだ。大和の建造費は国家予算の実に４パ…

文庫判
戦時中の日本

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0541-0
税込750円

戦時体制下の日本人の「日常」

当時の写真とともに検証する

現代の感覚で捉えると、「戦争」とは特別で非日常のもののように感じられるが、実際のところ、戦時中の人々はどのような暮らしをしていたのだろうか？当然ながら窮屈な思いをすることも多かったに違いないが、現代の人々と同じような日常の暮らしもあっただろうし、当時なりの喜怒哀楽もあったはずだ。長い戦争を生き抜いた人々の“日常”を、太平洋戦争の期間を中心に、写真…

四六判
世にも奇妙な「世界死」大全

遠海総一 著
ISBN4-8013-0538-0
税込1430円

死は日常に転がっている

偉人たちの衝撃的な「死に様」

古今東西の歴史に残る「死」を見ると、英雄的に命を散らした人や悲劇的な生涯の終え方をした人もいて、そうした人々の「死」は物語となって多くの人々の心に生き続ける。しかし、世界の歴史にはまだ、奇妙で衝撃的な、一筋縄ではいかない「死」がたくさん埋もれている。カバと戦って殺された王、火山の火口に飛び込んだ哲学者、恐怖のあまり気絶して亡くなった平安貴族、治療で…

四六判
福沢諭吉が見た150年前の世界

福沢諭吉 著　武田知弘 訳
ISBN4-8013-0536-6
税込1650円

サムライたちがフランスの高級ホテルで迷子に

福沢諭吉が書き残した元祖「地球の歩き方」

近代化に影響を与えた福沢諭吉は、「冒険の人」でもありました。若いころに故郷を飛び出して長崎、大坂などで学び、開国後は洋行使節に紛れ込んで、西洋の地を踏みました。そんな福沢諭吉が明治維新直前に出版したのが、日本初の海外旅行ガイドブック『西洋旅案内』です。切符の買い方や旅程など実用的な情報はもちろん、政治制度や価値観の違いなど、あらゆる事柄がとらえられ…

四六判
教科書には載っていない！ 戦前の日本

武田知弘 著
ISBN4-8013-0528-1
税込1000円

不思議で新しく、どこか懐かしい…

仰天必至の裏日本史！

今から80年前、日本はまるで別の国だった…。国会にはヤクザの親分議員がいて、街では政府公認で売春が行なわれている。薬局に行けばモルヒネや覚せい剤が手に入り、カフェでは女給が流し目をくれる。〇〇団を名乗る不良少年少女のグループが暴れ回るかと思えば、丁稚の小僧さんは昼夜区別なくただ同然の給金でこき使われる。サラリーマンはエリートで、独身女性の憧れの的。エ…

文庫判
最新研究でここまでわかった 日本史 通説のウソ

日本史の謎検証委員会 編

ISBN4-8013-0518-2
税込750円

坂本龍馬や武田信玄が教科書から消える？

最新研究でわかった日本史の真相に迫る

「織田信長は天下布武を掲げて武力で全国を統一する意思を示した」「錦の御旗がきっかけで、幕府軍は鳥羽伏見の戦いに敗れた」「坂本龍馬がリーダーシップを発揮して、薩長同盟は成立した」これらの歴史常識が、もう通用しない⁉新たな遺構の発掘や、新史料の発見、さらには史料の比較・検証が多角的に行われることで、通説は変化。一般的に知られていないだけで学界ではもう…

文庫判
日本で本当にあった 拷問と処刑の歴史

日本史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0512-0
税込750円

自白か死か

過酷な刑罰から人間の狂気に迫る

日本では長い間、想像を絶するような「拷問」や「処刑」がまかり通っていた。敵対者を殺すため、歯向かおうする者を抑止するために、生み出されていった拷問や刑罰の数々。「火あぶり」「磔」「鋸引き」「釜茹で」「鼻削ぎ」…など、残酷な刑罰はいかにして生まれ、制度化されていったのか。その秘密に迫る。…

文庫判
知れば知るほど面白い！ 日本地図150の秘密

日本地理研究会 編
ISBN4-8013-0500-7
税込750円

地図から読み解く日本はとにかく面白い！

不思議な県境や地名の謎に迫る

日本地図を眺めると、まったく読めない地名やおかしな県境など、「おや？」と疑問に思うものがいくつも見つかる。普段は意識することが少ないかもしれないが、実は、こうした疑問をひも解くと日本各地の風習や事件、自然など意外な事実を知ることができるのだ。・都道府県の半数は県境が確定していない？・伊豆諸島と小笠原諸島が東京都に編入された理由・漢字２文字の地名が…

文庫判
日本のしきたりがよくわかる本

火田博文 著
ISBN4-8013-0499-4
税込750円

しきたりや行事は面倒くさいというイメージが変わる

知れば知るほど日本のしきたりは面白い

日本人は食事のときに、「いただきます」「ごちそうさま」と言います。その言葉の意味や、語源を知っているでしょうか。節分に豆をまくのはなぜでしょう。お盆の風習は、いつどうやって生まれたのか……。意外に知らないものなのです。私たちの生活を取り巻く、さまざまなしきたりを改めて考えてみると「あれ？」と思うことがいくつもあります。しきたりとは、自然の恵みによ…

四六判
最新研究でここまでわかった 天皇家 通説のウソ

日本史の謎検証委員会 編

ISBN4-8013-0497-0
税込1000円

歴代天皇の素顔に迫る

天皇家の歴史にまつわる47の新常識

「継体天皇の王朝交替説に疑問の声あり」「推古天皇は中継ぎではなく強力なリーダーだった」「天皇は藤原摂関家の言いなりではなかった」「南北朝の合一で王朝の分裂が終わったというのはウソ」「織田信長は天皇に敬意を払い、経済的に支援していた」最新の研究成果を元に、天皇と皇室にまつわる新常識を紹介！「事件」「政治」「即位・儀礼」「文化・制度」という四つの切り口…

四六判
大名格差

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0493-2
税込1430円

お殿さまも楽ではない

幕府による巧みな大名統制戦略

江戸時代の日本は徳川将軍家が率いる幕府と、三百諸侯と称された大名家が率いる実数約260もの藩が共同統治する時代であった。大名といっても100万石から１万石まで格差は大きかったが、石高以外にも様々な基準で格付けされた。そうした区分が組み合わされることで家格は決まったが、その基本は将軍との関係である。将軍に近いほど優遇され、遠いほど冷遇された。そんな幕府によ…

文庫判
教科書では教えてくれない 昭和の日本

歴史ミステリー研究会 著
ISBN4-8013-0489-5
税込750円

急成長する日本で人々はどう生きたか？

戦後の日本が生んだ光と影

日本は太平洋戦争後、約６年半の占領期を経てふたたび独立した。その後「昭和」は約37年間続き、平成へとバトンタッチすることになるが、その間の日本には多くの光と影があった。急成長して生活が向上した反面、現在では考えられないような事件も起こっている。本書では、当時の出来事の数々を、当時の写真とともにいま一度検証している。戦後の「昭和」はどんな時代だったのか…

四六判
戦国武将の土木工事

豊田隆雄 著
ISBN4-8013-0481-9
税込1430円

インフラから読み解く武将たちの強さの秘密

築城・都市設計・道路敷設・港湾整備・治水・資源開発など

優れた武将は戦に強かっただけではなく、土木工事にも力を入れていた！城づくりはもちろん、都市設計や道路敷設、港湾整備や治水、資源開発など、あらゆる土木工事に関与していた戦国武将たち。折しも時代は技術革新を迎え、大規模な土木工事が可能になっていた。そうした技術を駆使しながら、戦国武将たちは武力に頼るだけでなく、周辺国の状況や領国の事情を勘案しながら、地…

四六判
呪われた世界史

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0484-0
税込1000円

歴史をつむぐ血と悲劇の連鎖

歴史は呪いの連鎖でできている？

世界史の中には悲惨な事件が多いが、ひとつの事件がそれ単体で完結するとは限らない。まるで呪われたように、ある悲惨な事件が別の悲惨な事件の引き鉄を引き、暗い歴史がつながっていってしまうケースも多い。そのような例を集めたのが本書だ。事件同士の因果が見えてくれば、皮肉な歴史の流れや、人間の後ろ暗い本性も理解できるようになるだろう。…

文庫判
教科書には載っていない！戦国時代の大誤解

熊谷充晃 著
ISBN4-8013-0482-6
税込750円

映画やドラマが描けない意外過ぎる戦国のリアル

織田信長は無類のお人好しだった！

「戦国時代」という言葉で、何を想像するだろうか？華々しい鎧兜に身を包み、雄々しく馬に跨った騎馬武者の軍団が、土煙をあげて敵軍と激突するところだろうか。はたまた、鉄砲隊の一斉射撃が起こす砲煙で覆われた戦場で、刀と刀で雌雄を決する武将の姿だろうか。こうした光景はドラマや映画、漫画でお馴染みだが、実はどれも“誤解”に満ちている。本書は史料をもとに、こう…

文庫判
教科書には載っていない戦争の発明

熊谷充晃 著
ISBN4-8013-0478-9
税込750円

インターネット、点字、抗癌剤、消費税…

身近な発明は戦争から生まれた

人類が生活するなかで、当たり前にお世話になっている数々の製品――時間を知るために必要な「腕時計」、冬に便利な「トレンチコート」や「ダッフルコート」、食生活には欠かせない「電子レンジ」や「缶詰」、できることならお世話になりたくない「救急車」……。すべては戦争によって普及した〝戦争の発明〟だった！こうした戦争の発明はいかに生まれ、戦争と関わってきたのか…

四六判
企業として見た戦国大名

真山知幸 著
ISBN4-8013-0475-8
税込1430円

上杉家は努力が報われないブラック企業だった？

戦国大名を企業化して強さの秘密に迫る

戦国大名の強さの秘密は、現代の企業に見立てることで、よくわかる。私たちが生きる現代社会では、各企業がしのぎを削って競争し、従業員の雇用を守りながら、利潤を追求している。組織が大きければ大きいほど、強大なパワーを持ち、市場を我が物顔で跋扈する。一方で、スタートアップしてまもない企業が独自の技術で市場を創出し、時には大企業をもしのぐ勢いを見せることも…

四六判
イラストでよくわかる江戸時代の本

ミニマル 著　BLOCKBUSTER 著
ISBN4-8013-0471-0
税込1000円

江戸の街並みや日常がイラストでよみがえる！

政務からペット事情まで江戸の暮らしを大解剖

１６００年、「天下分け目の戦い」といわれる関ヶ原の戦いで、石田三成の軍勢を破った徳川家康。征夷大将軍に任命されると、その後約２６０年もの長きにわたる幕府を江戸に開きました。それまで関東の一田舎に過ぎなかった江戸は、現在の東京にもわずかにその面影を残す城郭都市として大きく変貌を遂げていきます。そして、世界有数の「百万人都市」へ。こうして日本各地から…

文庫判
教科書には載せられない暴君の素顔

山口智司 著
ISBN4-8013-0466-6
税込730円

人はどこまで残酷になれるのか？

暴君たちの深淵をのぞく

人類史には、輝かしい業績を刻んだ英雄たちがいる一方で、酸鼻を極める残虐な行為を繰り返した「暴君」もいる。暴君の代名詞ネロからヒトラーやポル・ポトなど近代の独裁者まで、権力を握り、暴虐非道を繰り返した彼らは、いったい何を行ったのか。また、彼らはなぜそのような人物になってしまったのか――暴君たちの深淵が見えてくる！※本書は2008年に刊行された同名書籍を文…

四六判
太平洋戦争の収支決算報告

青山誠 著
ISBN4-8013-0468-0
税込1430円

日本はあの戦争で何を失ったのか？

金銭面から解剖すると新たな戦争像が見えてくる

最盛期には800万人を超える兵力を動員し、とてつもない額の戦費を使い、国力を限界まで傾け、持てる人的資源、物的資源を注ぎ込む――。太平洋戦争は日本にとって、文字通りの〝総力戦〟になった。昭和16年12月8日の真珠湾攻撃、マレー上陸作戦から、昭和20年9月2日の戦艦ミズーリ甲板上での降伏文章調印まで、3年9ヵ月にわたってつづいたこの戦争で、日本は多くの人命を失っただけ…

B6カバー付判
終戦直後の日本 教科書には載っていない占領下の日本

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0465-9
税込1000円

敗戦から主権回復までの７年間、何があったか？

戦争に負けた後、日本人はどのように生きたのか

敗戦はすべての日本人を窮状に陥れた。生きのびるために必死な人々は路上や洞窟で暮らし、ヤミ市で食べ物をあさる。その隣では「鬼畜」と呼んでいた米兵が闊歩し、チョコレートを配っていた。過去の秩序や価値観がひっくりかえった時期でもあった。現在と比べるとあらゆるものが劣悪だったにも関わらず、ある意味では活気にあふれていた日本の様子を、人々の生活・混乱・文化…

文庫判
教科書には載っていない
大日本帝国の真実

武田知弘 著
ISBN4-8013-0467-3
税込750円

なぜ短期間で世界第三位の軍事大国になったのか？

日本史最大のタブーに迫る

19世紀末のアジアに突如現れた謎の国、大日本帝国。その国はまたたく間に中央集権体制を作り上げ、富国強兵のスローガンのもと、怒濤の勢いで成長を続けた。そして誕生からわずか30年で、当時、アジアの盟主の座に君臨していた清国を打倒。その10年後には、ヨーロッパ最強の陸軍を有する大国ロシアをも打ち破ってしまった。大日本帝国は、いかにして作られ、成長し、そして倒れ…

B6カバー付判
教科書も間違っていた
歴史常識のウソ

常識のウソ研究会 編
ISBN4-8013-0463-5
税込1000円

知らないとヤバい歴史の新常識

そんなことまでウソだったの？

歴史教科書の内容がこの20～30年間で大きく変わっているというニュースを聞いて驚いた経験のある方もいるのではないだろうか。今まで「源頼朝」だと教えられてきたあの肖像画に描かれているのは別人だった、教科書で「鎖国」という用語が使われなくなった……など、これらの新事実はよく知られている。ところが、歴史教科書を一歩飛び出したところにも、我々が勘違いしている「…

四六判
本当は怖い　日本の聖地

古代ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0460-4
税込1000円

夢に見ただけで命を落とす洞窟がある？

聖なる地に秘められた50の物語

日本の聖地は、清らかで厳かな場所ばかりではない。呪いやたたり、怨念といった禍々しい伝説が残っていたり、いまだ明らかにされていない謎に満ちている聖地も少なくない。「地上を死の世界とつなぐ出雲大社誕生の秘密」「転ぶとたたりで命を落とす？対馬の太陽信仰の地」「黄金と不老長寿の象徴？修験道の聖地・大峰山」「清水の舞台は死体を遺棄する場所だった？」「夢に見る…

文庫判
図解　いちばんやさしい古事記の本

沢辺有司 著
ISBN4-8013-0459-8
税込750円

日本の誕生、神話の世界、古代政権の謎…

『古事記』がわかれば日本の姿が見えてくる

日本の神々の物語をまとめた本、これが『古事記』です。日本には、ギリシャ神話や北欧神話にも匹敵する、神々の豊かな物語があります。太陽神アマテラスが洞窟のなかに隠れて世界が暗黒におおわれたという「天石屋戸隠れ」、毎年娘を襲いにくる大蛇と闘う英雄スサノオの「ヤマタノオロチ退治」、八十神に騙されたウサギをオオクニヌシが救う「因幡の白兎」、天上の神が高千穂に…

B5判
図解　江戸の間取り

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0455-0
税込1000円

大きな図版でわかりやすい！

間取りを見れば江戸がわかる

百万都市江戸の魅力を「間取り図」を介してやさしく解説。五つの土地毎に章を分け、江戸に住む人々の暮らしに迫る。対象は将軍や大名といった上流層から、旗本・御家人や江戸勤番の藩士たち、さらには町人、豪農など。住まいや勤め先の内部を見れば、江戸のリアルを実感できる。…

文庫判
日本史の黒幕

歴史ミステリー研究会 著
ISBN4-8013-0450-5
税込750円

かつての日本にはこんなにヤバイ奴らがいた

歴史はいつも黒幕が作った

日本史には、図太さや腹黒さ、したたかさを兼ね備えて時代を動かした人物が大勢いる。彼らはどれだけ人から嫌われようとも、みずからの信念を貫き、日本史に名前を刻みつけてきた。特異な方法で歴史を変えようとするさまは、「黒幕」と呼ぶにふさわしい。神託を利用して天皇になろうとした僧侶、敵を殺しまくってのしあがった武将、クーデターで首相を暗殺した青年将校、汚職…

四六判
本当は怖い　仏教の話

沢辺有司 著
ISBN4-8013-0436-9
税込1000円

焼身、入水、呪い合戦、隠れ信者への弾圧…

仏教のタブーに迫る

仏教とは、仏になるための教えだ。一切の執着から解き放たれ、悟りの訪れをめざす。そのために修行をするのだが、それは正しい生き方をすることである。この仏教の原点を見るかぎり、なんら怪しいところも、恐ろしいところもない。ところが、あらゆる方向に複雑に枝分かれし、ほかの宗教や各地の風習をのみこみながら成長した仏教は、まったく別の姿に変貌した。その断面を切り…

四六判
昔の教科書とはこれだけ変わった！
日本史の新常識

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0435-2
税込1000円

最新の研究でわかった　「新しい日本の歴史」

歴史の「常識」は日々変わる

近年、日本史の分野では、優れた研究によって新たな事実が次々と明らかになっています。そしてそれにともない、歴史の教科書も書き替えられています。かつての教科書とは、どこがどのように変わったのか、新しい常識とはどんなものか。豊富な資料とともに、いちばん新しい日本史がわかる１冊です。…

文庫判
ヒトラーの大衆扇動術

許成準 著
ISBN4-8013-0434-5
税込750円

なぜ、理性的なドイツ国民がヒトラーの意のままに動かされたのか？

民衆の心を掌握し、総統の地位に登り詰めた心理術を分析

現代社会で仕事を成功させようと思えば、人を説得しなければならないという場面に常に出くわすものだ。しかし、人は何か得るものがなければ、他人が望むとおりに動くことはない。たとえ上司という命令ができる立場であっても、部下を思いどおりに動かすことは容易ではない。多くの人が「他人を動かすのは難しい」と嘆き、「対人関係に最も ストレスを感じる」と言うのである。…

文庫判
封印された国家プロジェクト

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0433-8
税込730円

思わず封印したくなるような頓挫や失敗の数々

巨大プロジェクトの野望と果て

…

四六判
最新研究でここまでわかった 江戸時代
通説のウソ

日本史の謎検証委員会 編
ISBN4-8013-0429-1
税込1000円

水戸黄門は庶民の味方ではなかった

江戸時代の新常識を網羅！

「徳川家康は神経質で怒りやすかった」「江戸が百万都市というのは推測」「赤穂浪士は仇討ちをするつもりはなかった」「武士以外の庶民も苗字を持っていた」……。最新研究でわかった江戸の新常識を、49項目にわたって紹介。時代劇とはまったく異なる、江戸時代の真実に迫る。…

四六判
江戸の間取り

安藤優一郎 著
ISBN4-8013-0424-6
税込1430円

江戸城の防御力、大名のおもてなし、豪農によるビジネス…

間取りを見れば江戸がわかる

江戸は五〇〇年以上も前から関東の港湾都市として賑わいを見せていたが、天正18年（１５９０）に徳川家康が居城に定めたことで、大きく変貌を遂げた。当初は軍事拠点として城の整備が進められ、関ヶ原で徳川家が勝利したのち武家人口・町人人口が急増すると、一大消費地点として発展。ついには世界最大級の百万都市にまで成長し、現代東京の礎が築かれることとなる。本書では、…

四六判
イラストでよくわかる　古事記の本

ミニマル 著　BLOCKBUSTER 著
ISBN4-8013-0416-1
税込1000円

教養として知っておきたい最古の歴史書をやさしく解説！

八百万の神様たちがおりなす、壮大でユーモラスな物語

『古事記』は、今から1300年以上前の奈良時代中期に、それまで聞き伝えられていた日本の成り立ちに関する神話や天皇家にまつわる史実を、当時の学者であった太安万侶が編纂し、書き記したものと考えられています。これだけ聞くと歴史好きの人以外は、「何だか堅苦しそう」と思うかもしれません。しかし、『古事記』で語られる日本神話のエピソードは、実にハチャメチャながら、…

文庫判
韓国人が書いた 韓国で行われている
「反日教育」の実態

崔碩栄 著
ISBN4-8013-0413-0
税込750円

「歴史」の授業にとどまらず 「道徳」「音楽」にまで及ぶ反日教育とは？

異様すぎる反日教育を知れば日韓問題の本質が見えてくる

今の韓国の小学生たちを見たとき、日本に対して反感や憎しみを持っていることが多い。その中には何らかの体験や事件を通して反日の催眠から目覚める者もいるが、多くは日本に対する反感を持ったまま成長し大人になる。もし、その人が日本人から被害を受けたり、日本旅行で嫌な思いをしたため日本に対する反感を持つようになったというなら、それは十分理解できる。しかし、残念…

四六判
つなげてみれば超わかる
日本史×世界史

森村宗冬 著
ISBN4-8013-0409-3
税込1000円

つなげると何が起きたかよくわかる

世界の歴史は「連動」している

一般的には、日本史と世界史は別のものとして扱われます。しかし実際は、日本と世界は昔から互いに影響し合いながら進んできました。仏教が伝わったことでヤマトの政治体制は大きく変わり、江戸時代の浮世絵はプロイセン産の顔料によって生まれ変わりました。そして、明治維新もイギリスの産業革命の影響を受けて始まったと言えます。日本はどのような影響を世界から受けてきた…

文庫判
誰も書かなかった　日韓併合の真実

豊田隆雄 著
ISBN4-8013-0408-6
税込730円

感情論やイデオロギーを超えて

日韓併合を現実的な視点で見直す

日韓併合とはなんだったのだろうか？この問題を考えようとしても、政治的な影響のせいで、なかなか自由な議論が行えないのが実情だ。韓国では、民族主義的な歴史観が浸透し、最後は必ず「日本＝悪」という視点に行きついてしまう。一方、そうした過激な論法に日本では反発の声が上がり、「日本は何も悪いことはしていない」という極論まで出るようになっている。そこで本書で…

文庫判
教科書には載せられない
日本軍の秘密組織

日本軍の謎検証委員会 編
ISBN4-8013-0401-7
税込713円

国内外で繰り広げられた諜報活動と謀略の舞台裏

極秘扱いの諜報組織から陸海軍を刷新した派閥や軍人まで

諜報活動や謀略を駆使して目的を達成しようとした組織や派閥が、日本軍には存在した。インド独立工作を担ったF機関や光機関、満州を支配した関東軍、五・一五事件を引き起こした王師会など、それら組織が社会に与えた影響は計り知れない。そんな日本軍の組織や派閥、人物を、38の項目を通じて紹介。極秘任務を遂行した特務機関の活動や、改革を目指した陸海軍の派閥、さらには…

四六判
本当は怖い　日本の神話

古代ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0395-9
税込968円

いけにえ、裏切り、たたり、虐殺…

神話から古代日本の闇に迫る

生まれてすぐに両親に捨てられた神ヒルコ、拷問を加えられて天上界を追放されたスサノオ、イザナミが眠る異界として恐れられた熊野三山、生贄の風習を伝える祭り……など、日本神話に描かれた恐怖のエピソードを紹介。古代の人々が厳しい自然といかに向き合い、熾烈な勢力圏争いをどのように記憶してきたかがわかる。…

四六判
戦艦大和の収支決算報告

青山誠 著
ISBN4-8013-0391-1
税込1430円

建造費・維持費・戦費から見た戦艦大和

金銭面から解剖すると全く新しい大和が見えてくる

世界一の威容を誇った戦艦大和。これまで大和はありとあらゆる評論・創作物で取り上げられてきた。悲劇的な最期を綴ったものもあれば、開発秘話や性能を紹介するもの、そして大和が大活躍する架空戦記など枚挙にいとまがない。しかし、これまでに表立って論じられてこなかった側面がある。それがコスト――金銭面から大和を解剖することだ。大和の建造費は国家予算の実に４パ…

文庫判
教科書には載っていない明治維新の大誤解

夏池優一 著
ISBN4-8013-0389-8
税込713円

当時の国民は明治維新をどうみたのか？

日本を近代化に導いた明治維新の「闇」に迫る

明治維新から150年を迎えた現在。その評価は「日本を近代化に導いた」「旧習の弊害を打ち破った」と賛美されがちだが、政府の意図に注意を払い、当時の国民の視点に立てば、違った史実が浮かび上がる。木戸孝允が関わった「五箇条の誓文」は徳川慶喜追討の士気向上に利用され、大久保利通は残忍な方法で政敵を処刑し、賊臣であったはずの幕臣たちが実務を担っていた。教育改革も…

文庫判
大日本帝国の謎

小神野真弘 著
ISBN4-8013-0386-7
税込713円

アジアの小国が、黒船来航からわずか50年で大国ロシアを倒すまでに拡大できた理由とは？

大日本帝国とは、何だったのか？

軍部の暴走で戦争に突入。途中までは連勝街道を驀進し他国を圧倒したものの、アメリカに追い詰められ、特攻もむなしく玉砕……学校で習う「大日本帝国」のイメージはこのようなものではないだろうか？だが、なぜ「大日本帝国」は、侍が支配するアジアの小国から、世界有数の軍事大国へと変貌を遂げることができたのか？改めて考えてみると、「大日本帝国」には多くの「謎」…

文庫判
教科書には載せられない歴史のタブー

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0378-2
税込713円

世界の歴史には、身の毛もよだつ恐ろしい裏側がある

歴史上に存在する　「触れてはいけない部分」をえぐる

ひとつの民族の絶滅をたくらんだ男、白人が奪った大陸、国民の８割が死んだ戦争、地図にも存在しないロシアの秘密都市、ギロチンが設置されていた広場、３カ月で50万人が死んだ大虐殺、世界人口の削減をもくろむ団体……繁栄の裏にひそんでいた闇が証拠の写真とともに明らかにされる！※本書は2014年３月に小社より刊行された『教科書には載せられない歴史のタブー』を文庫化し…

B6カバー付判
知られざる名城の仕掛けと謎

歴史ミステリー研究会 著
ISBN4-8013-0375-1
税込968円

かつて、城は戦場だった

城攻めの戦略や武器がわかる

日本の城は、武将の力の象徴であり、戦いの場でもあった。城に施された仕掛けは、攻め込んでくる敵を退け、戦いを有利に導く。そのため、武将たちはそれぞれ知恵を絞って城を建てたのだ。本書ではそのような名城の機能を中心に、実際の合戦や武器などを、写真や図とともに紹介する。…

文庫判
戦国の合戦99の謎

歴史ミステリー研究会 編
ISBN4-8013-0373-7
税込713円

戦場を駆け抜けた武将の真の姿を探る

戦場の真の姿が明らかになる

日本全土で数多くの武将が覇権を競い合った戦国時代。約100年の間に繰り広げられた戦については、いまだ多くの謎が残されている。・戦国時代にもクリスマス休戦があった？・敵の首を使った「首占い」があった？・合戦中に大暗躍した忍者がいた？・勝率が一番高かった武将は誰？・織田信長が敗戦をバネに用意した秘密兵器とは何？……など、戦場の意外な事実から有名な武将に…

文庫判
日本人が知らない神事と神道の秘密

火田博文 著
ISBN4-8013-0369-0
税込713円

神事に秘められた日本人のルーツ

連綿と、大切に受け継がれてきた神道の教え

「神事」とは、いったいなんだろう。神社の祭りや地域のイベントなどで、ときどき聞く言葉だ。どうも神社で行なわれている儀式らしい。そのくらいの受け止め方で、それではどんな儀式を行なうのか、そこにいかなる意味があるのか、詳しく知っている人は意外に少ないのではないだろうか。本書はそんな「神事」について、ひとつひとつ探ってみた。すると、そこに広がっていたのは…

B6カバー付判
日本地図150の秘密

日本地理研究会 編
ISBN4-8013-0365-2
税込968円

不思議な県境や地名の謎に迫る

地図から読み解く日本はとにかく面白い！

日本地図を眺めると、まったく読めない地名やおかしな県境など、「おや？」と疑問に思うものがいくつも見つかる。普段は意識することが少ないかもしれないが、実は、こうした疑問をひも解くと日本各地の風習や事件、自然など意外な事実を知ることができるのだ。・都道府県の半数は県境が確定していない？・伊豆諸島と小笠原諸島が東京都に編入された理由・漢字２文字の地名が…

B6カバー付判
最新研究でここまでわかった 幕末 通説のウソ

日本史の謎検証委員会 編
ISBN4-8013-0358-4
税込968円

坂本龍馬は薩長同盟の立役者ではない？

幕末の新常識がわかる！

「吉田松陰は過激な発言をして教え子に諌められていた」「江戸無血開城を主導したのは勝海舟ではなく別の幕臣」「幕府軍は薩長に負けない近代的な軍隊だった」「工業化の下地は江戸時代からできていた」など、これまでの研究で明らかになった49の幕末史の新説を紹介。時代を動かした人々や重大事件、戦乱、社会・政治など、4つのテーマから幕末をわかりやすく読み解いた一冊。…